



連携の大切さを学ぶことができました。



2つめは、12月末に体育館内で行った忘年会です。利用者様のニーズを考え、どのようにしたら楽しんでいただけるかをのほら楽団の職員が計画・準備をしました。食事はキッチンのはらへ依頼し、スイーツなどは生活介護チームの職員と一緒に作っていました。体育館の準備は就労チームが職員と一緒に作り上げ「楽しかった」と沢山の笑顔が溢れていました。のほら楽団の良さは家族のような雰囲気と一緒に作業に取り組み、寄り添わせていただくことで「明日も来たい」「ここに居場所がある」と思っていただけ環境作りがもっとも重要な事だと感じました。

のほら楽団

支援員 三澤亜弓

2025年4月名水会に入社し、のほら楽団に配属となり生活介護チームにて障がいの特性を学びました。10月から就労チームに異動となり現在に至ります。心に残る事は日々ありますが特に思い出は2つあります。

はじめに、キッズクラブひまわりには、北杜、韮崎市内の小・中学校、支援学校を中心に子どもたちが来所しています。令和7年のキッズクラブひまわりを振り返って、低学年がさらに増え、賑わいを増し、笑顔も増え、泣きべそも増え、「楽しい」「嬉しい」「悔しい」「悲しい」の感情の経験もできた一年でした。

キッズクラブひまわり

支援員 橋本智穂

お友達との関わりでは、「一緒に遊ぼう」「仲間に入れて」「かして」などの声が聞かれる一方で、「僕もやりたいけど」「なんて言ったらいけないから」「や悲しい気持ち、悔しい気持ちなどの感情を伝え合うこと」「何て言えばよかったのか」の振り返りまた、素直に「ごめんなさい」ができることを



大切にしていきたいのと同時に、その関わり方を通して一歩ずつ学び、成長を感じる日々です。自分の好きなことだけではなく、そこに一緒にやる仲間がいることで、共有できることが学びになり、「楽しかった」「嬉しい」「また来たい」と思えること、子どもたちの「できた」の経験や選択肢をたくさん増やしていただけるように、一瞬一瞬の感情や「できた」を職員も一緒に共感し、学んでいきたいと思っています。今後も、元氣いっぱい子どもたちとスタッフ一同取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。



題字 三澤真緒様
表紙 馬場みどり様

トピックス
グループホーム建築について
各事業所振り返って

訃報のお知らせ
ご利用者様 押山 政彦 令和8年2月10日 逝去79歳

漸進堅実

理事長 長田 和也

毎年届くプレゼント

令和8年2月26日、小淵沢中学校の生徒会のみなさんが「まごころ活動」の一環として学校で集められたタオルやアート活動に使える絵具・ペンなど届けてくださいました。代表して有賀英樹さんに受け取ってもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。



いずれも星の里

日本の総理大臣に初めて女性が任命され、「強くて豊かな日本をつくる」を掲げ、新たな時代が始まろうとしています。政の変革は時には私たちの生活に直接的な影響を与え、社会の不安や混乱を招く要因となります。特に地方・中山間地の政策は取り残されがちで、地域の課題はより深刻化している様に感じます。

月一回開催することで峡北圏域の支援力の引き上げと、他法人との連携強化につながっています。地域への発信は、利用者さんの魅力を伝えるために、甲府の街中でアートの企画展を行ったり、地域のスーパーマーケットで活動の様子や、日々の取り組みを伝える展覧会を行ったり、近隣の郵便局に利用者さんの作品を展示させてもらうなどの取り組みを行いました。また、地域の皆さんと一緒に企画運営を行ったバリアフリー演劇祭や地域イベントへの協力などを通して地域の皆さんとの関わりを深めています。

小さな、でも確実な一歩は地域の中に浸透し、確実に変化をもたらすと信じています。そして、その変化の中でさらなる一歩として日野春グループホームの建設を始めることができました。白州町大坊にあるGH大坊と、小荒間

星の里では、日々の活動として「アート活動」や「他事業所との共同農作業」に取り組んでいます。【表現を豊かにするアート活動】アート活動では、絵画や粘土細工、書道などを自由に楽しんでいた

四季を彩るイベント」季節ごとの行事も充実しています。春：敷地内の桜を愛でるお花見会（カラオケや桜餅を楽しみます）



赤い羽根共同募金より助成金をいただきました

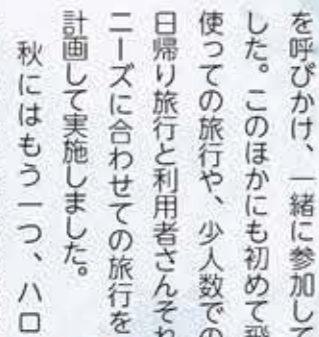
利用者のプライバシーを確保する目的として、各居室入り口ドアの鍵を設置するため、赤い羽根共同募金より助成金をいただきました。また、これを機にだいぶ傷んでいたドアも新しくしました。



各事業所 一年を振り返って



他事業所との交流も盛んです。利用者様やスタッフ同士で協力し合い、季節の野菜の栽培や収穫、花の手入れ、動物の餌やりなどを行っています。収穫した作物を皆で味わうイベントもあり、お一人おひとりがやりがいを持って参加されています。



【表現を豊かにするアート活動】アート活動では、絵画や粘土細工、書道などを自由に楽しんでいただいています。また、音楽もアートの大切な要素と捉え、リズムに合わせた「リトミック」も取り入れています。利用者様の作品は地域の展示会に出展しており、受賞される方もいらつしやいます。専門の講師を招く時間もあり、本格的な作品づくりや音楽を皆で楽しんでいます。

夏：地域の方々や他事業所を招いて開催する盛大な夏祭り。秋：仮装やフェイスペイントで盛り上がるハロウィン。冬：ピアノ演奏や歌で楽しむクリスマス会。サンタとトナカイからのプレゼントは、皆様に大変喜ばれています。

今年度も「はるのひ・なのはな」はな棟」合同で季節に応じた様々なイベントを企画してきました。夏の納涼祭はこれまで何度も当初の計画通り実施することが出来ず

「はるのひ・なのはな」となって早数年。イベントだけでなく、作業も合同で行うことも少しずつ増えてきています。このほかにも合同ではできなかったイベントがいくつかあります。それらも合同で開催できればいいなと思います。みんなの笑顔が絶えない事業所になるよう、来年度も頑張っていきたいと思います！

星の里

はるのひ・なのはな

支援員 松澤 玲生

支援員 穂坂 雄太